

熊本高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	英語III
科目基礎情報						
科目番号	0053		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 4		
開設学科	機械知能システム工学科		対象学年	3		
開設期	通年		週時間数	4		
教科書/教材	Shape it! 3 Combo A (Cambridge UP) Bricks 2 (いいずな書店) 英語のハノン (筑摩書房)					
担当教員	福井 由美子					
到達目標						
【読む力】 まとまりのある説明文を理解したり、実用的な文章から必要な情報を得ることができる 【聞く力】 日常生活や社会問題に関する情報、会話、説明を聞き取ったり、まとまりのある内容を理解することができる 【書く力】 経験や身の回りのできごと、社会問題についての意見などを段落を意識して書くことができる 【話す力】 会話特有の表現を用いて、日常生活や社会問題に関する情報について説明したり、まとまりのある内容を話すことができる						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
【読む力】	まとまりのある説明文の詳細を理解したり、実用的な文章から必要な情報を十分に得ることができる		まとまりのある説明文の概要を理解したり、実用的な文章から必要最低限な情報を得ることができる		まとまりのある説明文の概要を理解したり、実用的な文章から必要最低限の情報を得ることができない	
【聞く力】	日常生活や社会問題に関する情報、会話、説明の詳細を聞き取ったり、まとまりのある内容をきちんと理解することができる		日常生活や社会問題に関する情報、会話、説明の概要を聞き取ったり、まとまりのある内容をおおよそ理解することができる		日常生活や社会問題に関する情報、会話、説明の概要の聞き取りや、まとまりのある内容の理解ができない	
【書く力】	経験や身の回りのできごと、社会問題についての意見などを段落を意識して、豊かな語彙と正しい文法に基づいて書くことができる		経験や身の回りのできごと、社会問題についての意見などを段落を意識して書くことができる		経験や身の回りのできごと、社会問題についての意見などを段落を意識して書くことができない	
【話す力】	会話特有の表現を用いて、日常生活や社会問題に関する情報について説明したり、まとまりのある内容を、流暢に話すことができる		会話特有の表現を用いて、日常生活や社会問題に関する情報について説明したり、まとまりのある内容を話すことができる		会話特有の表現を用いて、日常生活や社会問題に関する情報について説明したり、まとまりのある内容を話すことができない	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 1-2 学習・教育到達度目標 1-3 学習・教育到達度目標 4-2						
教育方法等						
概要	英語IIIでは、英語I、IIで修得した基礎知識の定着と伸長を目指し、Speaking活動を中心に、Listening, Reading, Writing 活動も行う。					
授業の進め方・方法	主にテキストに基づく活動を行う。					
注意点	(自学として) 授業前学習として、該当ページに目を通し、知らない単語の意味調べ、Web Classの音声を用いて音読を行っておくこと。 授業後学習として、該当ページのWorkbookの問題演習を行う。Web Classの音声および動画を用いて、音読練習および口頭練習を行うこと。 それとは別に、毎日単語学習とハノンを音読する。 ・授業は日々の英語学習の確認の場 ・毎日(授業がない日も)必ず英語学習に取り組む ・既習事項がどれくらい定着していて、どれくらい使えるかが大切 ・英語力に自信のある4年生を目指して、上達する自分を楽しみながら1年間しっかり頑張ろう！					
授業の属性・履修上の区分						
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	Introduction, Starter		understand how to learn English set learning goals	
		2週	Unit 1		learn some words to describe people	
		3週	Unit 1		discuss what inspires you	
		4週	Unit 1		understand how to use different past tense forms	
		5週	Unit 1		listen to understand an interview	
		6週	Oral Test		read a conversation clearly and loudly with a partner	
		7週	Review		review Starter & Unit 1	
		8週	Test		check how well you understand the contents of Starter & Unit 1	
	2ndQ	9週	Unit 2		describe pictures by using the words about visual and performing arts	
		10週	Unit 2		understand how to use the present perfect with regular and irregular verbs	
		11週	Biblio Battle		find a favorite English-written book and read it	
		12週	Biblio Battle		give a presentation about the book you read	
		13週	Unit 2		understand how to use the present perfect with already, just, still, and yet	

後期		14週	Oral Test	give a book presentation clearly and loudly
		15週	Review	review the contents of Unit 1
		16週	Review the test Summer Home Work	review the test and make sure what to study during the summer vacation
	3rdQ	1週	Unit 3	learn some words about communication
		2週	Unit 3	read to understand the text about earphones
		3週	Unit 3	understand how to use can, could, will be able to
		4週	Unit 3	listen and understand a radio interview
		5週	Unit 3	understand how to use present perfect with How long. . .? and for / since, and the simple past
		6週	Oral Test	translate Japanese into English smoothly
		7週	Review	review Unit 3
		8週	Test	check how well you understand the contents of Unit 3
	4thQ	9週	Unit 4	describe pictures by using the words about health and fitness
		10週	Unit 4	read to understand the text about ISS
		11週	Unit 4	understand how to use quantifiers
		12週	Unit 4	give your opinion about health and eating
		13週	Unit 4	understand how to use should, shouldn't, and ought to
		14週	Oral Test	read aloud a passage clearly
		15週	Review	check how well you understand the contents of Unit 5
		16週	Review the test	decide what to learn during your spring break

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	2	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	2	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	2	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	2	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	2	前4
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	2	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	2	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	2	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	2	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	2	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	2	
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	2	
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	2	
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	2	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	2	
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	2	
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	2	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	2	
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	2	

				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	2	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	2	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	2	
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	2	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	2	
				円滑なコミュニケーションのために図表を用意できる。	2	
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディールランゲージなど)。	2	
	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	チームで協調・共同することの意義・効果を認識している。	2	
				チームで協調・共同するために自身の感情をコントロールし、他者の意見を尊重するためのコミュニケーションをとることができる。	2	
				当事者意識をもってチームでの作業・研究を進めることができる。	2	
				チームのメンバーとしての役割を把握した行動ができる。	2	

評価割合

	Written Test	Oral Test	Vocabulary Test	Presentation	Self check	Others	合計
総合評価割合	40	20	10	10	10	10	100
基礎的能力	40	20	10	10	10	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0